

ひじおりの灯

HIJIORI Light project 2010

2010.7.13 (Tue) → 8.31 (Tue)

山形県最上郡大蔵村肘折温泉街

月山のふところに抱かれた直径5キロのカルデラ盆地の底に、湧き出ている湯とともに1200年の歴史を重ねてきた美しい村があります。最上郡大蔵村肘折温泉——ここは昔ながらの湯治文化を継承する温泉街です。灯ろうによる温泉街のライトアップ「ひじおりの灯」は2007年からはじまった夜の芸術祭。今年もいい絵が揃ってますよ。

肘折温泉では、東北芸術工科大学とパートナーシップを組み、〈湯治文化を100年後に継承する〉ための芸術文化による地域活性化事業「肘折温泉プロジェクト」に取り組んでいます。その中核となる「ひじおりの灯」は、肘折温泉が開湯1200を迎えた2007年夏からはじまり、今年で4回目の点灯を迎えます。「ひじおりの灯」を描くのは、東北芸術工科大学で絵画やデザイン、染色などを専攻する大学院生たちです。学生たちは春に温泉街の招待で2泊3日の合宿をおこない、手漉きの月山和紙にそれぞれの〈肘折〉を表現しました。灯ろうのデザインは竹内昌義(みかんぐみ)が手がけ、組立てや表装は庄内の組子職人が腕を振っています。さらに今年は、地元青年団や、閉校した旧肘折小中学校の児童生徒も灯ろう絵を出展するなど、「ひじおりの灯」はゆっくりと着実に、新しい地域文化として肘折に根付きつつあります。



WEB『ひじおりの旅の手帖』
http://hijiori.jp/tabi/ ※7月初旬より公開

肘折が愛される理由…それは、じっくりと〈湯治〉してはじめて感じられる不思議な効能。「ひじおりの旅の手帖」は、肘折びいきの老人たちや、温泉業を営む人々から教わった、そんなこの土地の魅力が100項目にわたって書き留めたウェブサイト上の手帖です。肘折への旅の前にぜひご覧ください。



「肘折絵語り・夜語り」
7月24日[日]17:30→21:30 肘折温泉街

温泉街にずらりと並ぶ灯ろう「ひじおりの灯」を、作画者の解説つきで鑑賞していく夜のトークイベントです。暮れていく温泉街を浴衣姿でそぞろ歩きながら、35個の灯ろうをゆっくりと巡っていきます。芸術の光にじむ湯治場の夏の情緒と一緒に楽しみませんか？



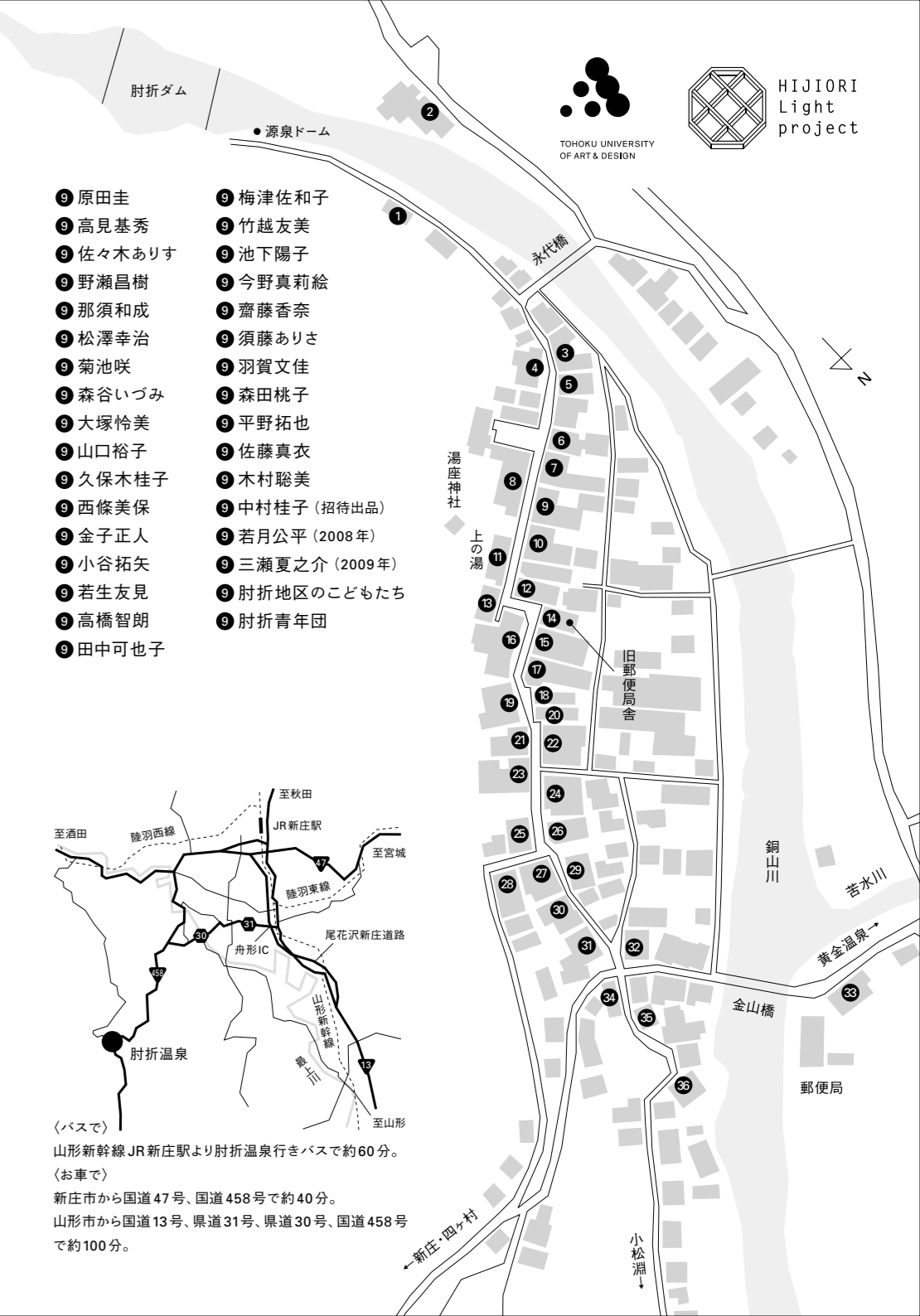
twitter『ひじおりの灯』
http://twitter.com/hijiorinohi

学生や青年団による「ひじおりの灯」のスタッフが、プロジェクトの進行状況やイベントの速報、毎日の点灯の様子などをツイッターで随時発信します。特にチェックしてほしいのが肘折の天気。雨天・強風時には点灯しませんので、お出かけ前の確認をお勧めします。

http://hijiori.jp/



ひじおりの灯 2010
点灯＝2010年7月13日[月]→8月31日[月]18:30→20:00
会場＝山形県最上郡大蔵村肘折温泉街
主催＝肘折地区十東北芸術工科大学
企画＝肘折温泉プロジェクト実行委員会十東北芸術工科大学美術館大学センター
灯籠絵制作＝東北芸術工科大学学生・大学院生・卒業生・肘折地区有志
制作協力＝赤坂憲雄・森繁哉・辻けい・若月公平・山崎和樹・中村桂子・三瀬夏之介・宮本武典
灯籠木枠制作・表具・紙漉き＝庄内木工研究会、下山佳生、三浦一之
制作サポート＝木村祐吉、柿崎雄一、肘折青年団、福恒佳奈、羽賀史佳、小野寺裕
お問い合わせ＝肘折温泉プロジェクト実行委員会(事務局)
☎0233-76-2321 fax0233-76-2509 Eメールkaki@tutayahijiorihotel.com
※雨天・強風時は点灯しない場合がございます。お出かけ前に天気概況をご確認ください。



- ① 原田圭
- ② 高見基秀
- ③ 佐々木ありす
- ④ 野瀬昌樹
- ⑤ 那須和成
- ⑥ 松澤幸治
- ⑦ 菊池咲
- ⑧ 森谷いづみ
- ⑨ 大塚怜美
- ⑩ 山口裕子
- ⑪ 久保木桂子
- ⑫ 西條美保
- ⑬ 金子正人
- ⑭ 小谷拓矢
- ⑮ 若生友見
- ⑯ 高橋智朗
- ⑰ 田中可也子
- ⑱ 梅津佐和子
- ⑲ 竹越友美
- ⑳ 池下陽子
- ㉑ 今野真莉絵
- ㉒ 齋藤香奈
- ㉓ 須藤ありさ
- ㉔ 羽賀文佳
- ㉕ 森田桃子
- ㉖ 平野拓也
- ㉗ 佐藤真衣
- ㉘ 木村聡美
- ㉙ 中村桂子(招待出品)
- ㉚ 若月公平(2008年)
- ㉛ 三瀬夏之介(2009年)
- ㉜ 肘折地区のこどもたち
- ㉝ 肘折青年団

〈バスで〉
山形新幹線JR新庄駅より肘折温泉行きバスで約60分。
〈お車で〉
新庄市から国道47号、国道458号で約40分。
山形市から国道13号、県道31号、県道30号、国道458号で約100分。